

令和7年度 第3回市政モニターアンケート
安全安心街づくりに関する意識調査報告書

令和7年3月

仙台市市民局生活安全安心部市民生活課

1 調査目的

仙台市安全安心街づくり基本計画（第4期、令和3～7年度）における成果目標として、「防犯活動に参加又は参加意欲のある市民の増加」（令和7年度時点で「防犯活動に参加又は参加意欲がある」と回答する市民の割合が60%以上）を掲げており、市政モニターアンケートを通じて、市民意識を調査する。

2 調査対象

令和7年度市政モニター 398名

3 調査時期

令和7年11月20日（水）から令和7年12月5日（金）まで

4 調査実施方法

郵送回収及びインターネットによる無記名式調査

5 回収結果

有効回答票 348（回答率 87.4%）

6 集計結果の留意事項

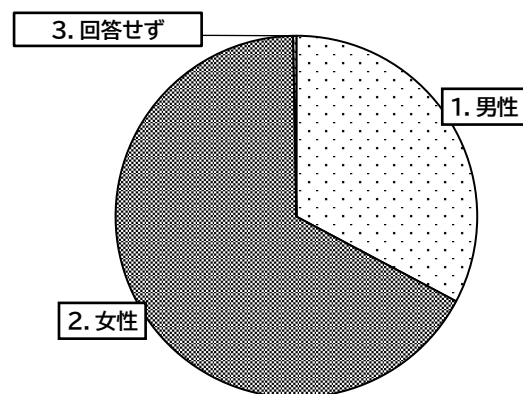
- ・複数の選択肢を選択する問いの回答割合は、設問項目毎の回答数を有効回答者数（n）で除したものとしている。
- ・集計結果の数値を小数点以下第2位で四捨五入しているため、割合の合計が100%にならないことがある。
- ・自由記述については主なものを記載している。なお、句読点や固有名詞は、表現を統一するため回答原文の表現を一部修正している。

7 調査結果

I. あなたご自身とお住まいについて

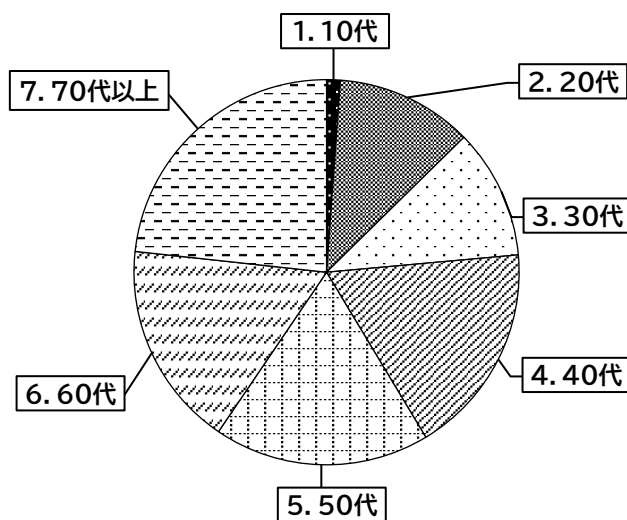
問1 性別 (n=348)

選択肢	回答数	割合
1. 男性	114	32.8%
2. 女性	233	67.0%
3. 回答せず	1	0.3%
合 計	348	



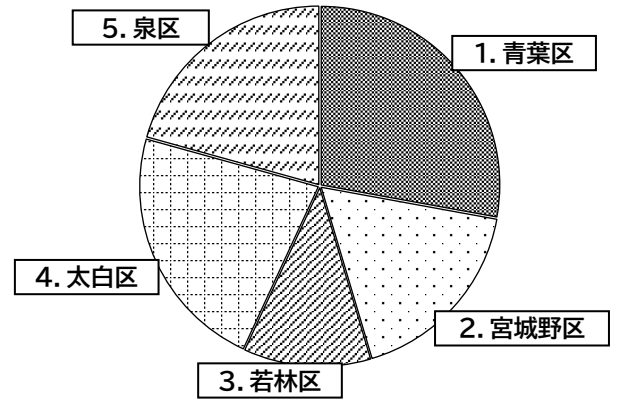
問2 年齢 (n=348)

選択肢	回答数	割合
1. 10代	4	1.1%
2. 20代	40	11.5%
3. 30代	38	10.9%
4. 40代	62	17.8%
5. 50代	63	18.1%
6. 60代	60	17.2%
7. 70代以上	81	23.3%
合 計	348	



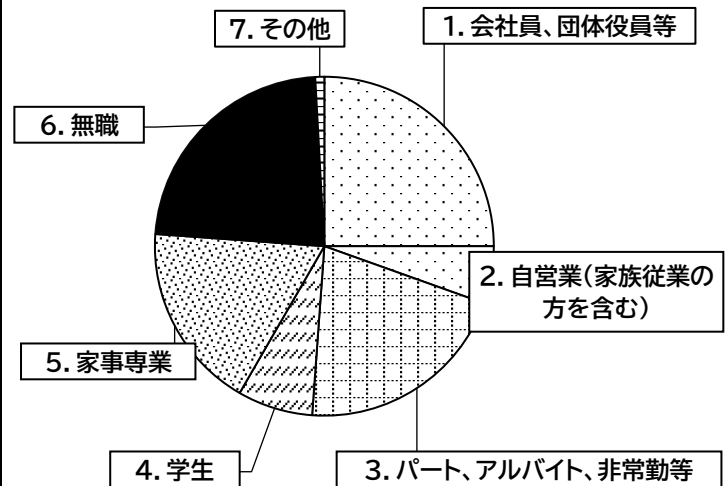
問3 居住地区 (n=348)

選択肢	回答数	割合
1. 青葉区	97	27.9%
2. 宮城野区	61	17.5%
3. 若林区	40	11.5%
4. 太白区	78	22.4%
5. 泉区	72	20.7%
合計	348	



問4 職業 (n=348)

選択肢	回答数	割合
1. 会社員、団体職員等	87	25.0%
2. 自営業 (家族従業の方を含む)	19	5.5%
3. パート、アルバイト、 非常勤等	72	20.7%
4. 学生	25	7.2%
5. 家事専業	62	17.8%
6. 無職	80	23.0%
7. その他	3	0.9%
合計	348	

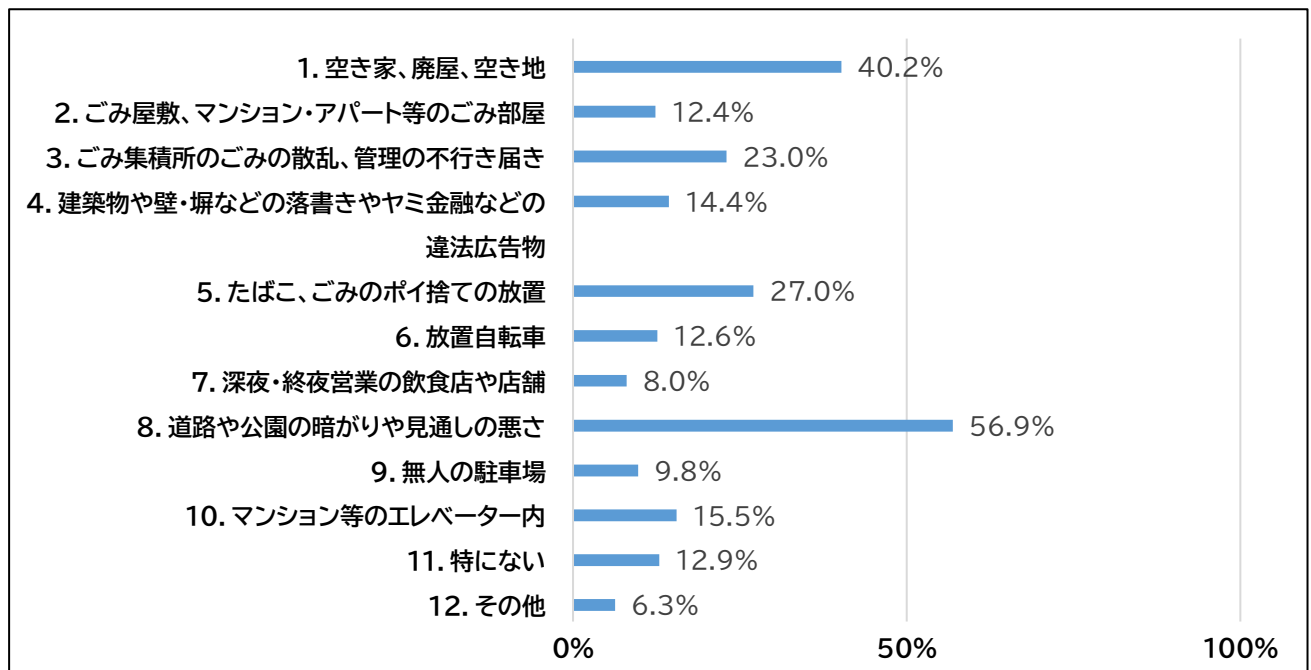


Ⅱ. 個人や地域の防犯対策についてお伺いします

問8 あなたのお住まいの地域で、犯罪の発生を招くものとして不安に感じているものは、次のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○) (n=348)

選択肢	回答数	割合
1. 空き家、廃屋、空き地	140	40.2%
2. ごみ屋敷、マンション・アパート等のごみ部屋	43	12.4%
3. ごみ集積所のごみの散乱、管理の不行き届き	80	23.0%
4. 建築物や壁・塀などの落書きやヤミ金融などの違法広告物	50	14.4%
5. たばこ、ごみのポイ捨ての放置	94	27.0%
6. 放置自転車	44	12.6%
7. 深夜・終夜営業(しゅうやえいぎょう※)の飲食店や店舗	28	8.0%
8. 道路や公園の暗がりや見通しの悪さ	198	56.9%
9. 無人の駐車場	34	9.8%
10. マンション等のエレベーター内	54	15.5%
11. 特にない	45	12.9%
12. その他	22	6.3%

※終夜営業：日没から明け方までの営業

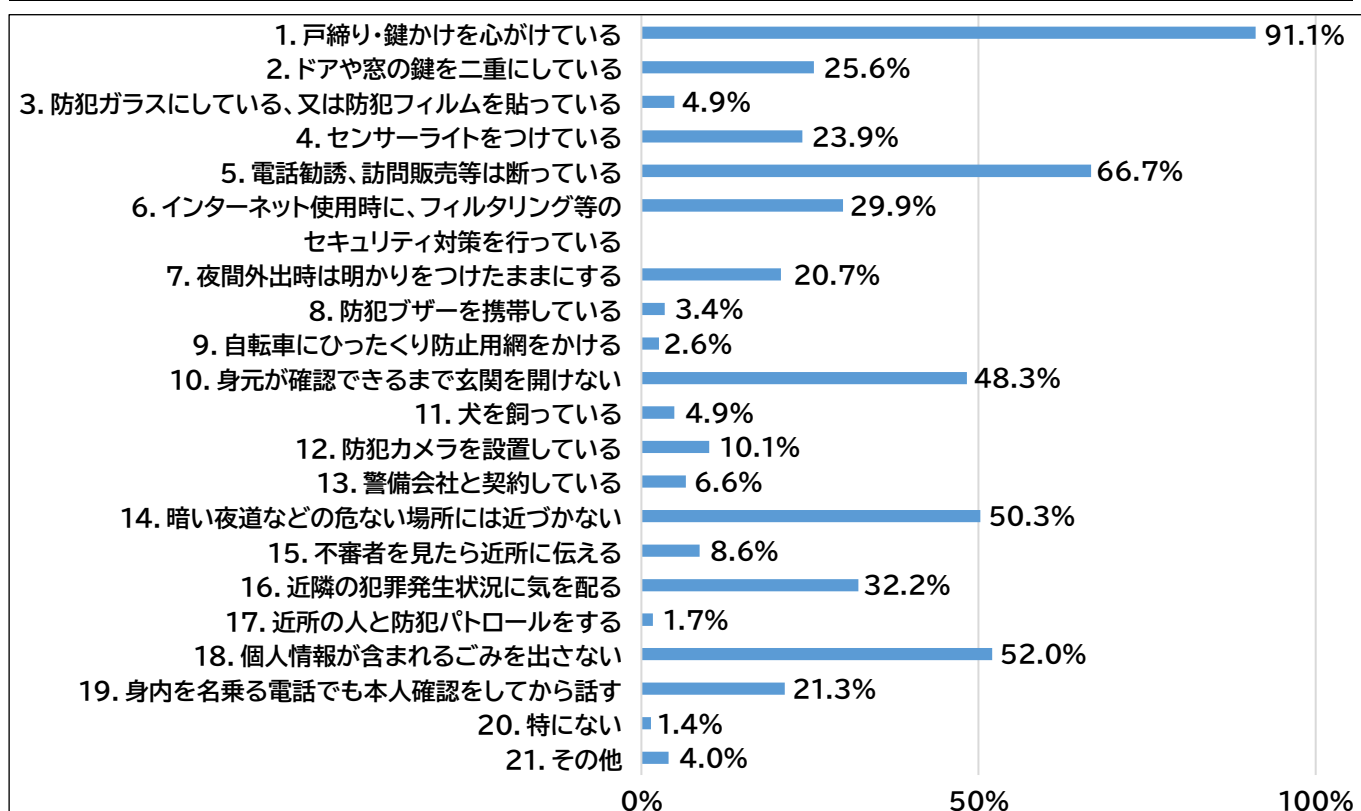


【「その他」の回答内容 (一部)】

- ・見知らぬ訪問者、訪問チラシ配り
- ・外国人のマナー
- ・路上駐車、深夜の暴走車両
- ・歩道を走る自転車
- ・草木が繁茂した空き地

問9 あなたが犯罪被害に遭わないために、日頃から取り組んでいることは次のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○) (n=348)

選択肢	回答数	割合
1. 戸締り・鍵かけを心がけている	317	91.1%
2. ドアや窓の鍵を二重にしている	89	25.6%
3. 防犯ガラスにしている、又は防犯フィルムを貼っている	17	4.9%
4. センサーライトをつけている	83	23.9%
5. 電話勧誘、訪問販売等は断っている	232	66.7%
6. インターネット使用時に、フィルタリング等のセキュリティ対策を行っている	104	29.9%
7. 夜間外出時は明かりをつけたままにする	72	20.7%
8. 防犯ブザーを携帯している	12	3.4%
9. 自転車にひったくり防止用網をかける	9	2.6%
10. 身元が確認できるまで玄関を開けない	168	48.3%
11. 犬を飼っている	17	4.9%
12. 防犯カメラを設置している	35	10.1%
13. 警備会社と契約している	23	6.6%
14. 暗い夜道などの危ない場所には近づかない	175	50.3%
15. 不審者を見たら近所に伝える	30	8.6%
16. 近隣の犯罪発生状況に気を配る	112	32.2%
17. 近所の人と防犯パトロールをする	6	1.7%
18. 個人情報が含まれるごみを出さない	181	52.0%
19. 身内を名乗る電話でも本人確認をしてから話す	74	21.3%
20. 特にない	5	1.4%
21. その他	14	4.0%

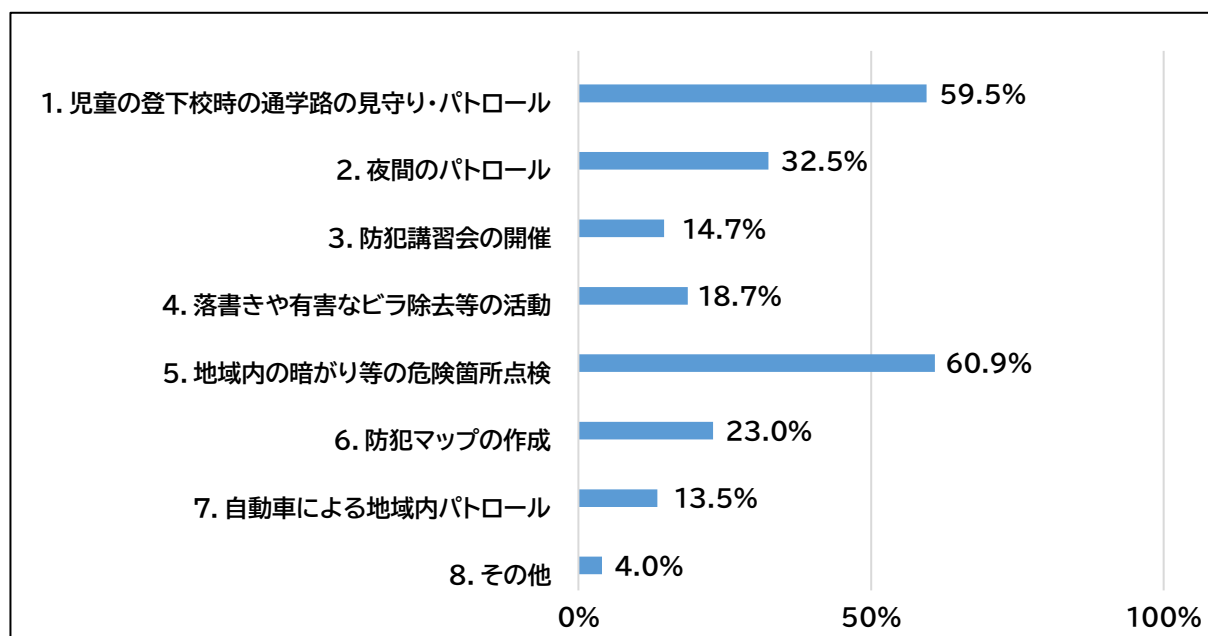


【「その他」の回答内容（一部）】

- ・不審な電話には出ない（常に留守電にしている）
- ・怪しいWebサイトにアクセスしない
- ・家の周りをきれいに整える
- ・日頃から町内の方々と交流を取る
- ・ダミーの防犯カメラ設置
- ・新聞やSNSでの情報収集

問10 あなたは、地域の防犯力を高めるために、地域でどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。（あてはまる番号3つまでに○）（n=348）

選択肢	回答数	割合
1. 児童の登下校時の通学路の見守り・パトロール	207	59.5%
2. 夜間のパトロール	113	32.5%
3. 防犯講習会の開催	51	14.7%
4. 落書きや有害なビラ除去等の活動	65	18.7%
5. 地域内の暗がり等の危険箇所点検	212	60.9%
6. 防犯マップの作成	80	23.0%
7. 自動車による地域内パトロール	47	13.5%
8. その他	14	4.0%

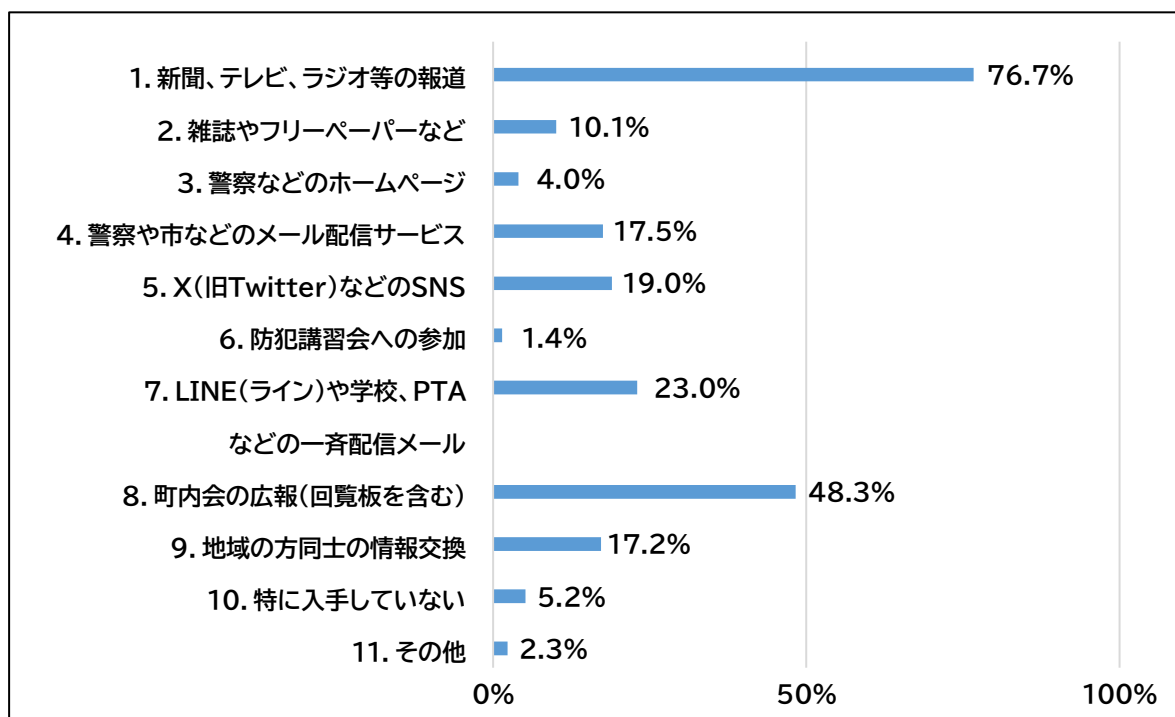


【「その他」の回答内容（一部）】

- ・防犯カメラの設置を増やす
- ・地域、学校、交番等との情報共有
- ・警察官のパトロールを要請する
- ・ごみ集積場の点検清掃
- ・学校だけでなく、地域での挨拶運動

問 11 あなたは、防犯に関する情報をどこから入手していますか。
 (あてはまる番号3つまでに○) (n=348)

選択肢	回答数	割合
1. 新聞、テレビ、ラジオ等の報道	267	76.7%
2. 雑誌やフリーペーパーなど	35	10.1%
3. 警察などのホームページ	14	4.0%
4. 警察や市などのメール配信サービス	61	17.5%
5. X (旧 Twitter) などの SNS	66	19.0%
6. 防犯講習会への参加	5	1.4%
7. LINE (ライン) や学校、PTA などの一斉配信メール	80	23.0%
8. 町内会の広報 (回覧板を含む)	168	48.3%
9. 地域の方同士の情報交換	60	17.2%
10. 特に入手していない	18	5.2%
11. その他	8	2.3%



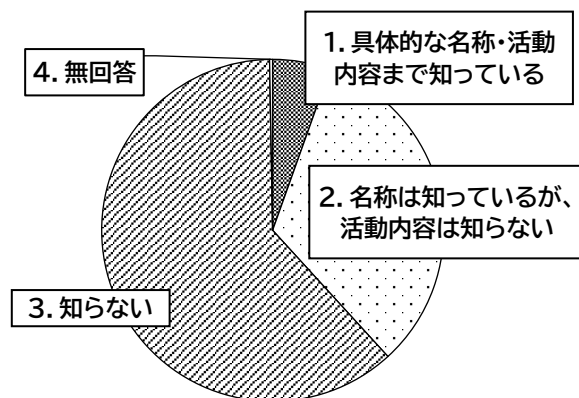
【「その他」の回答内容 (一部)】

- ・ 近所に住む親族
- ・ 大学からの案内

問 12 あなたのお住まいの地域の「防犯協会」という組織を知っていますか。

(あてはまる番号1つに○) (n=348)

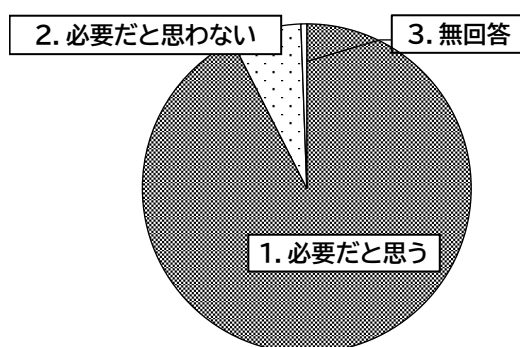
選択肢	回答数	割合
1. 具体的な名称・活動内容まで知っている	19	5.5%
2. 名称は知っているが、活動内容は知らない	114	32.8%
3. 知らない	214	61.5%
4. 無回答	1	0.3%
合 計	348	



問 13 あなたは、地域の防犯活動は必要だと思いますか。

(あてはまる番号1つに○) (n=348)

選択肢	回答数	割合
1. 必要だと思う	322	92.5%
2. 必要だと思わない	24	6.9%
3. 無回答	2	0.6%
合 計	348	

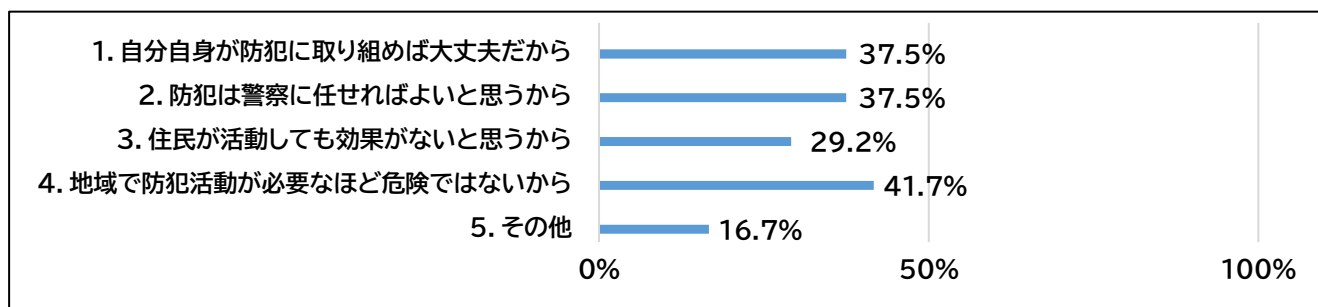


【問 13 で「2. 必要だと思わない」と答えた方へおたずねします。】

問 14 地域の防犯活動が必要だと思わない理由を教えてください。

(あてはまる番号すべてに○) (n=24)

選択肢	回答数	割合
1. 自分自身が防犯に取り組めば大丈夫だから	9	37.5%
2. 防犯は警察に任せればよいと思うから	9	37.5%
3. 住民が活動しても効果がないと思うから	7	29.2%
4. 地域で防犯活動が必要なほど危険ではないから	10	41.7%
5. その他	4	16.7%

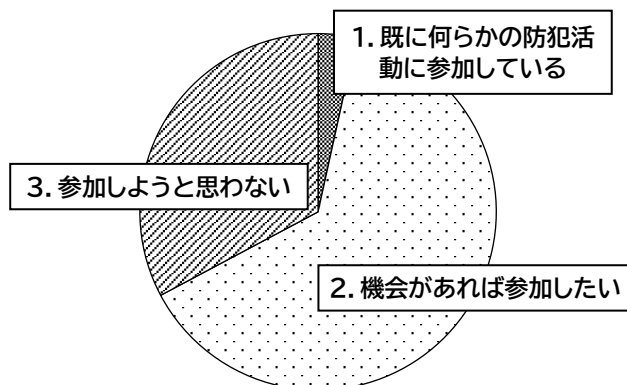


【「その他」の回答内容 (一部)】

- ・具体的な地域の防犯活動の内容がわからないため
- ・自己防衛が大事だと思うため

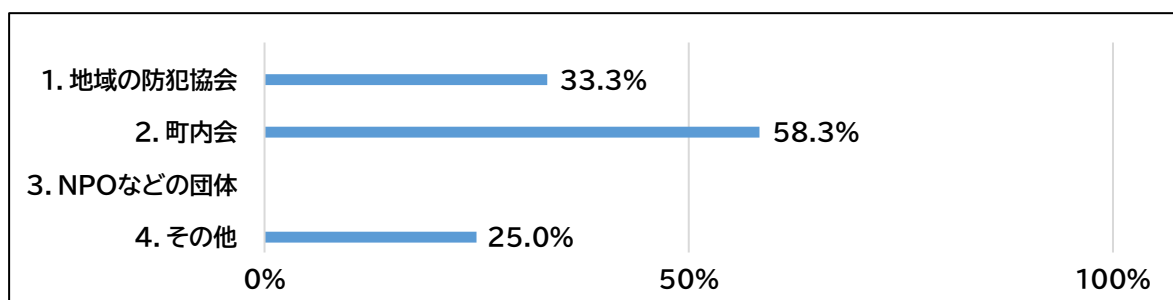
問 15 あなたは、地域の防犯活動に参加したいと思いますか。
 (あてはまる番号1つに○) (n=348)

選択肢	回答数	割合
1. 既に何らかの防犯活動に参加している	12	3.4%
2. 機会があれば参加したい	222	63.8%
3. 参加しようと思わない	114	32.8%
合 計	348	



【問 16~18 は、問 15 で「1. 既に何らかの防犯活動に参加している」と答えた方へおたずねします。】
 問 16 主にどのような団体の防犯活動に参加していますか。
 (あてはまる番号すべてに○) (n=12)

選択肢	回答数	割合
1. 地域の防犯協会	4	33.3%
2. 町内会	7	58.3%
3. NPOなどの団体	0	0%
4. その他	3	25.0%

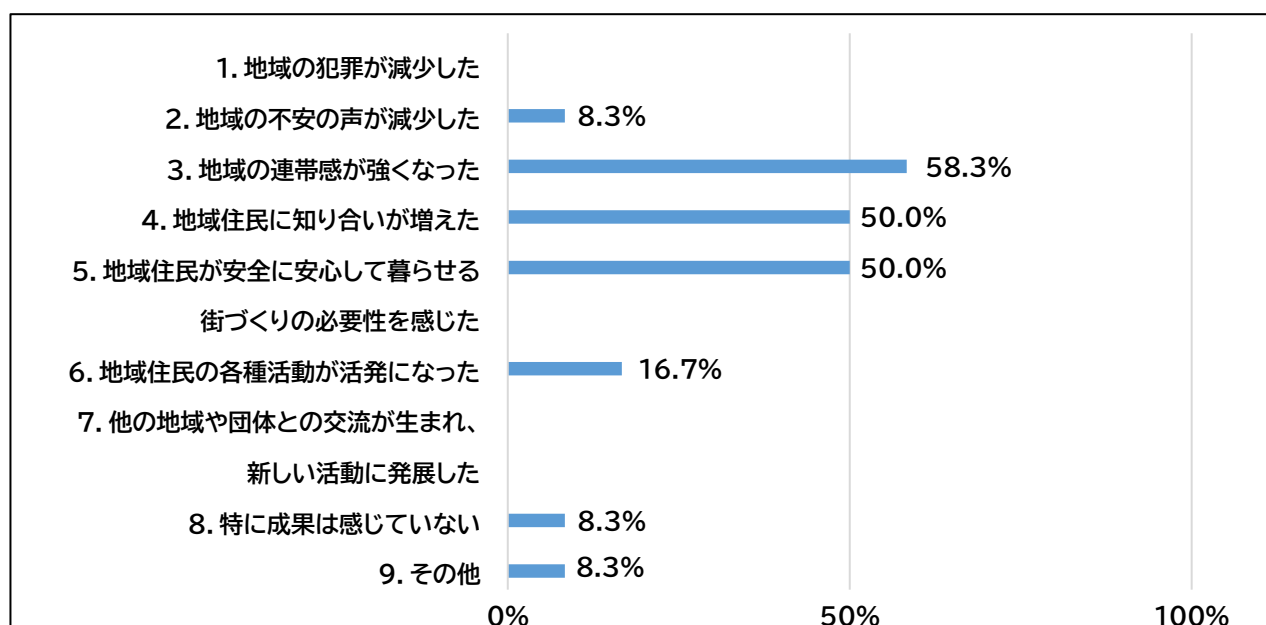


【「その他」の回答内容 (一部)】

- ・ 歩くボランティア
- ・ 学校ボランティア防犯巡視員
- ・ 地域防犯連絡員 (宮城県警察からの委嘱)

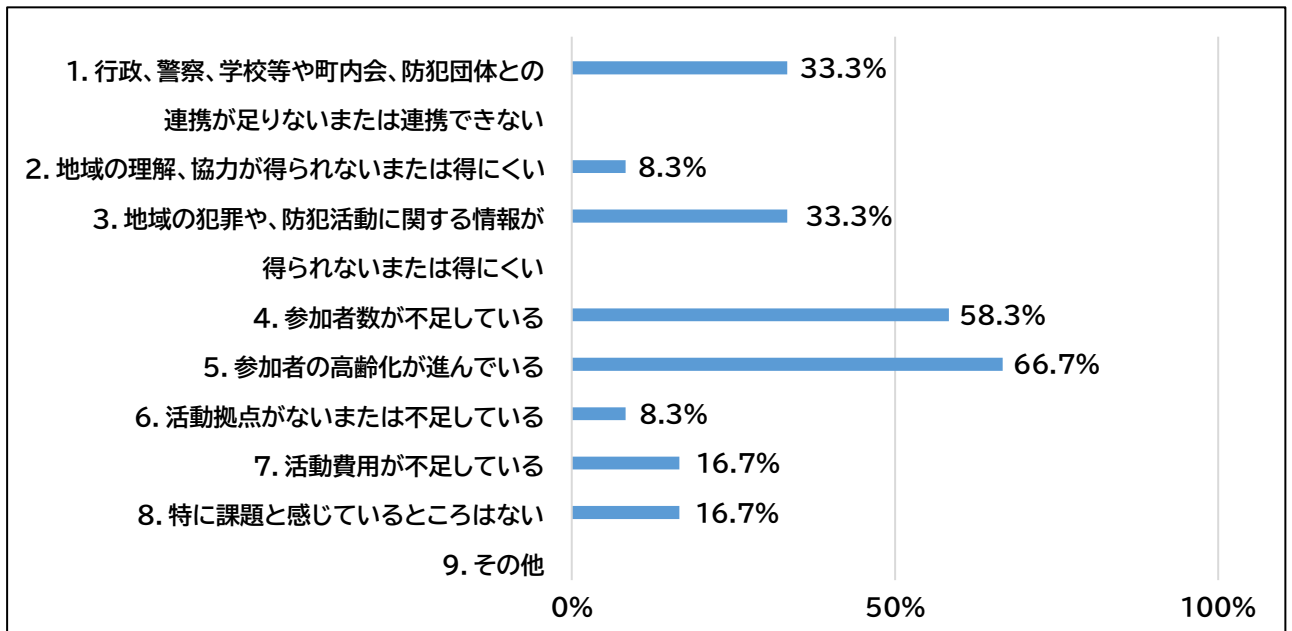
問 17 防犯活動に参加してどのような成果があったと感じていますか。
 (あてはまる番号すべてに○) (n=12)

選択肢	回答数	割合
1. 地域の犯罪が減少した	0	0%
2. 地域の不安の声が減少した	1	8.3%
3. 地域の連帯感が強くなった	7	58.3%
4. 地域住民に知り合いが増えた	6	50.0%
5. 地域住民が安全に安心して暮らせる街づくりの必要性を感じた	6	50.0%
6. 地域住民の各種活動が活発になった	2	16.7%
7. 他の地域や団体との交流が生まれ、新しい活動に発展した	0	0%
8. 特に成果は感じていない	1	8.3%
9. その他	1	8.3%



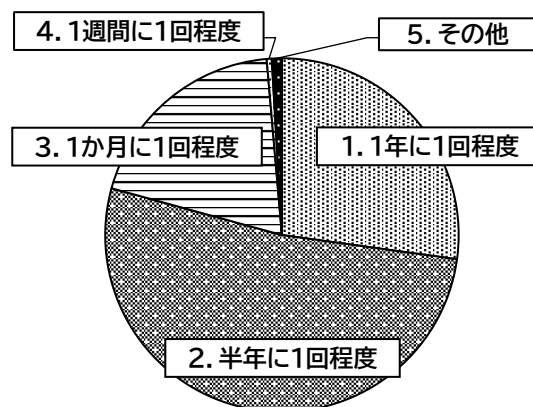
問 18 参加してみて感じた、防犯活動の課題をお答えください。
 (あてはまる番号すべてに○) (n=12)

選択肢	回答数	割合
1. 行政、警察、学校等や町内会、防犯団体との連携が足りない または連携できない	4	33.3%
2. 地域の理解、協力が得られないまたは得にくい	1	8.3%
3. 地域の犯罪や、防犯活動に関する情報が得られないまたは 得にくい	4	33.3%
4. 参加者数が不足している	7	58.3%
5. 参加者の高齢化が進んでいる	8	66.7%
6. 活動拠点が無いまたは不足している	1	8.3%
7. 活動費用が不足している	2	16.7%
8. 特に課題と感じているところはない	2	16.7%
9. その他	0	0%



【問 19、20 は、問 15 で「2. 機会があれば参加したい」と答えた方へおたずねします。】
 問 19 どのような頻度であればあなたの地域の防犯活動に参加したいと思いますか。
 （あてはまる番号1つに○）（n=222）

選択肢	回答数	割合
1. 1年に1回程度	59	26.6%
2. 半年に1回程度	113	50.9%
3. 1か月に1回程度	42	18.9%
4. 1週間に1回程度	1	0.5%
5. その他	7	3.2%
合計	222	

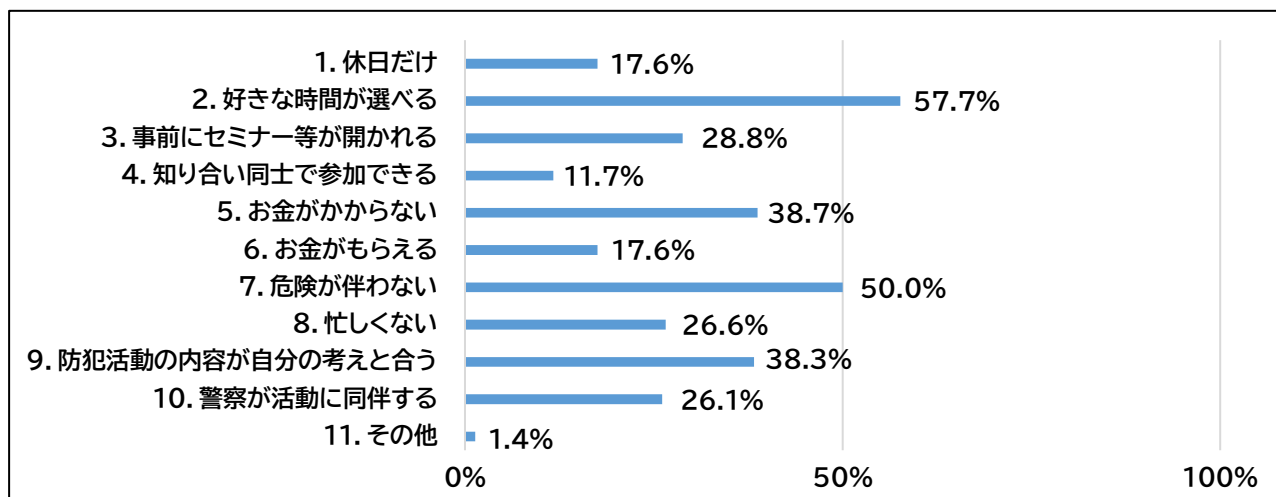


【「その他」の回答内容（一部）】

- ・自分の休みの日と都合が合えば

問 20 どのような条件であればあなたの地域の防犯活動に参加したいと思いますか。
 （あてはまる番号すべてに○）（n=222）

選択肢	回答数	割合
1. 休日だけ	39	17.6%
2. 好きな時間が選べる	128	57.7%
3. 事前にセミナー等が開かれる	64	28.8%
4. 知り合い同士で参加できる	26	11.7%
5. お金がかからない	86	38.7%
6. お金がもらえる	39	17.6%
7. 危険が伴わない	111	50.0%
8. 忙しくない	59	26.6%
9. 防犯活動の内容が自分の考えと合う	85	38.3%
10. 警察が活動に同伴する	58	26.1%
11. その他	3	1.4%



【「その他」の回答内容（一部）】

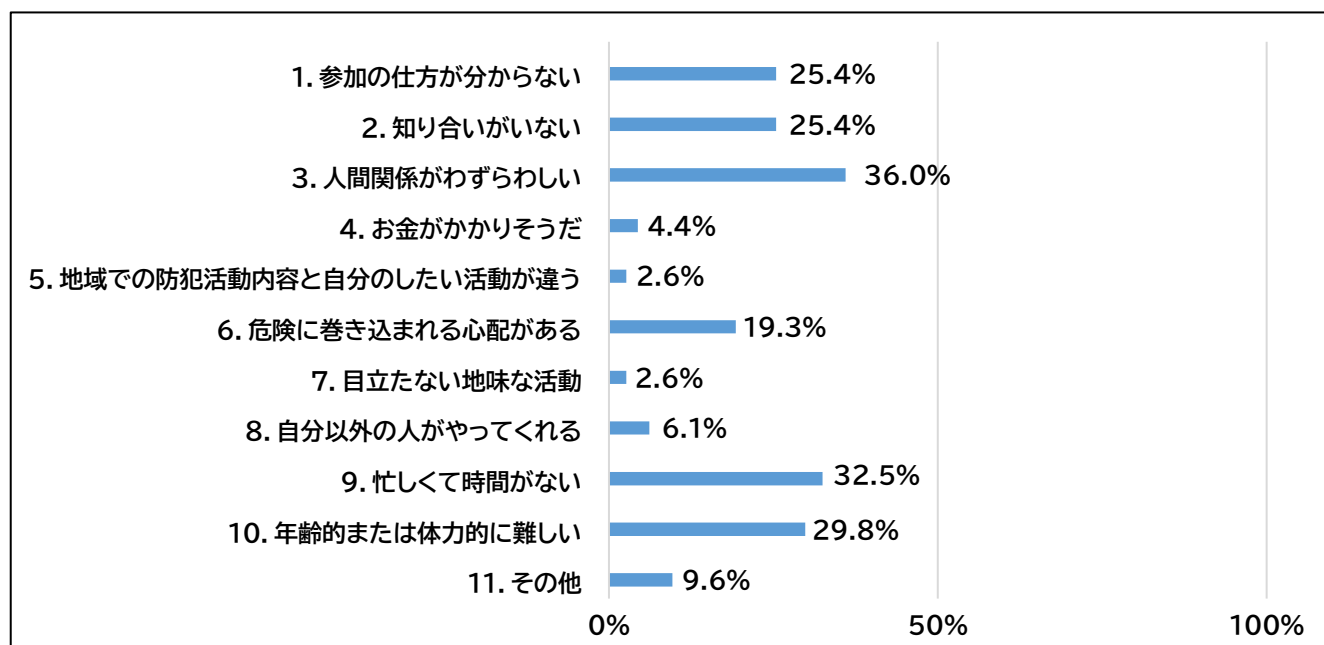
- ・短時間（1時間30分～2時間くらい）の活動

【問15で「3. 参加しようと思わない」と答えた方へおたずねします。】

問21 参加しようと思わない理由を教えてください。

（あてはまる番号すべてに○）（n=114）

選択肢	回答数	割合
1. 参加の仕方が分からない	29	25.4%
2. 知り合いがいない	29	25.4%
3. 人間関係がわずらわしい	41	36.0%
4. お金がかかりそう	5	4.4%
5. 地域での防犯活動内容と自分のしたい活動が違う	3	2.6%
6. 危険に巻き込まれる心配がある	22	19.3%
7. 目立たない地味な活動	3	2.6%
8. 自分以外の人やってくれる	7	6.1%
9. 忙しくて時間がない	37	32.5%
10. 年齢的または体力的に難しい	34	29.8%
11. その他	11	9.6%



【「その他」の回答内容（一部）】

- ・女性だけの世帯なので、危険に巻き込まれたくない
- ・個人で気を付ければよい
- ・地域での防犯活動内容を知らない
- ・こどもがまだ小さい

問 22 防犯や安全安心街づくりについての意見を、ご自由にご記入ください。

※内容別に分類し、主なものについてまとめさせていただきました。今後の業務運営の参考とさせていただきます。

【街灯や防犯カメラの設置に関すること】

- ・夜間の道路の街灯が薄暗いように感じます。LED を活用してもっと夜間の道路を明るくすれば、夜間のパトロールも不必要だし安全になると思います。
- ・費用はかかるかもしれないが、街灯をより明るくしたり、数を増やすことがいいと思う。24 時間でなくても、深夜 0 時までとか、0 時になったら半数が消灯になるか。
- ・防犯カメラがあるところは、もっと明確に「カメラあり」をアピールすべきだと思います。あれば、大きな犯罪等の抑止力になると思います。
- ・住宅街でも街灯がほとんどなく、暗いところがあるため、一軒家はセンサーライトの設置が必要なのではないかと感じている。
- ・簡単に設置できる乾電池式のセンサー式防犯ライト等の設置有効性の PR。

【警察によるパトロールや見守り活動に関すること】

- ・地域に交番がなく、パトカーが巡回してくれています。できれば近くに交番があれば安心です。
- ・警察のパトカーでの見回りは、しないよりは良いが効果が薄そう。徒歩で見回るだけでも効果がありそう（せめて自転車）。
- ・ボランティア等の活動で、2～3 人でパトロールをしていったら、安全な街になると思う。

【町内会や地域との連携、コミュニケーションの強化に関すること】

- ・まもらいだーの見守り活動に感謝、地域で子供たちを守ることは大切。
- ・自分の居住する地域でどのような方法で、現在どのような活動が行われているのかわかりたい。周知してほしい。
- ・ルールを守らないごみ出しをしている場合、そのごみが収集されずにゴミステーションに残されていることがあります。そういう地区は地域のつながりも薄いという印象で防犯の面からも気を付けたい点だと思います。

【こどもの安全に関すること】

- ・気になって、こどもの性被害のニュースを多く耳にするようになりました。こどもが一人になる状況（登下校、公園）、商業施設内でのトイレの中など、何が起きるか分からない世の中なのが悲しいです。広く周知して、こどもも大人もみんなで守り

合える世の中を作らなければと思います。

- ・近くに小学校や保育園が多いが、夜中に叫ぶ声等が聞こえることがあるので、どう
いう人が近所に住んでいるのか不安になることがある。
- ・登下校時に、パトロールをしている方々にはとても感謝しております。おかげで普
段の変わらぬ暮らしができると思います。

【環境整備に関すること】

- ・高齢者になると足元が危険になります。樹木（街路樹）の根本でぼこぼこが原因か
と（住宅街の歩道）。
- ・公道や歩道の雑草がひどすぎて、とても怖い。
- ・路上駐車も徹底して取り締まるべき。駐輪場を増やし、放置自転車を減らすべき。

【情報発信や広報に関すること】

- ・各個人、一人一人が防犯意識を高められるよう、市政だより等で周知していつてほ
しい。
- ・講習会にぜひ参加してみたいので、開催情報などを発信してほしい。
- ・防犯活動に参加したいが、そういう情報に接する機会がなく、気軽に参加できる仕
組み作りが必要。
- ・町内の防犯関係の方々が熱心に取り組んでくださっているの、ありがたいと思っ
ている。色々、情報も教えていただきたい。

【詐欺・訪問販売等に関すること】

- ・県庁のロビーコンサートでの詐欺対策のトークが分かりやすく役に立つ。
- ・メール、電話、訪問等で非常に精神的・肉体的に苦慮した経験があり、着信記録、
番号表示、ドアカメラ等で相手を確認し、最小限の範囲内で防犯に対応している。
- ・高齢化が進む地域に住んでいます。今年は熊被害が多くて自分達の地域は大丈夫だ
ろうかとか、詐欺被害にあわないようになど安全安心について、町内会で考えてい
ければと思います。
- ・LINE で市からの防犯に関するお知らせを登録していましたが、詐欺のお知らせが頻
繁で煩わしくなりやめました。他に注意喚起できる方法があればよいなと思ってい
ます。
- ・全国的に詐欺が増えており、買い取りも誇大広告が多い。「家に知らない人を入れ
ない」を徹底するように広報してほしい。